

洪水・土砂災害
ハザードマップ

近年多発する大規模な水害によって、平成27年に水防法が改正され、想定し得る最大規模の降雨への対応が求められるようになりました。広島県では洪水予報河川・水川周知河川について浸水想定区域の公表に続き、より小規模な河川についても洪水浸水想定を公表を行いました。

土砂災害ハザードマップについて

令和7年2月末時点で土砂災害警戒区域、特別警戒区域に指定されている区域を表示しています。正確な位置などは、県のウェブサイトなどでご確認ください。

県からのお知らせや、災害情報を発信するサイトへのリンクが掲載されています。

ハザードマップは「きたひろ情報アプリ」でも確認できます。

指定緊急避難場所とは、災害の脅威から逃れるために緊急的に避難し、身の安全を確保することができる施設又は場所です。災害の発生に備えて指定されます。

指定避難所とは、被災した住民が災害の危険がなくならない限り一定期間滞在し、又は災害により自宅へ戻れなくなった住民が等々一時的に滞在する施設です。

避難所の情報は和ウェブサイトでいつでも確認できます。

■洪水御水相定区域 ■十砂災害(特別)警戒区域

急傾斜地の崩壊
(がけ崩れ)

特别警戒区

5.0~10.0m未満 2階部分も水没する

0.5~3.0m未満 床上から1階が浸水する

河津温泉や八幡沼で家庭が倒壊する危険があることから、

風雨が 降り出す前に 危険な場所から

すでに外が危険なとき ▶ 上階職または近くの高い建物へ

■ 上海灾言(特别) 上海

十石漆

地すべり

警戒区域

切図

 指定緊急避難場所
 指定緊急避難場所
 指定避難所
 町役場
 消防本部
 警察署・交番
 水位観測所
 河川監視カメラ
 河川
 道路
 国境
 主要道路